

（午前11時30分 再開）

○議長（小林 弘君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番8、14番 樽井君。

〔14番（樽井豪男君）登壇〕

○14番（樽井豪男君）まず、30分も頂きまして、ありがとうございます。

それでは、市内の体育館をはじめとするスポーツ施設の老朽化が目立ってきているが、整備についてどのように計画しているのか。

まずこれにつきまして、今教育委員会のほうは、学校施設は大規模修繕とか、いろんな計画を立ててやっております。そしてまた、お金になる運動公園のテニス場、それも結構張り替えたりやっております。ほかのことについてあまりにもなかなか進んでいかない。それでいいのかということで、今回質問にいたしました。再質問はまた席のほうでやりたいと思います。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君の質問、スポーツ施設の整備に対する答弁を求めます。教育部長。

〔教育部長（堀畑明秀君）登壇〕

○教育部長（堀畑明秀君）スポーツ施設の整備についてお答えします。

市の公共施設全体の維持管理に関する方針は、橋本市公共施設等総合管理計画で定めており、人口減少や税収減少に合わせた施設総量の最適化を行うこととしています。この計画の下位計画として、スポーツ施設を含む生涯学習施設の整備についての具体的な方針を定めるため、令和3年3月には橋本市生涯学習施設長寿命化計画を策定したところ。この計画に従い、関係部署と協議しつつ、予

防保全的な改修等を行いながら施設の長寿命化を図る整備を行っていく方針です。

しかしながら、公共施設等総合管理計画の個別方針編では、個々の施設ごとに保持・廃止・統合等といった管理方針が示されていますが、計画の対象とされているのが公共建築物であることから、スポーツ施設のうち建築物が附属しないグラウンドやテニスコートは計画の対象外となっており、管理方針が定まっています。このため、現在、スポーツ施設全体の管理方針を定めた整備計画を策定する作業を進めており、スポーツ施設についてはこの計画を基に、今後、財源を確保し、整備を進めてまいります。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君、再質問ありますか。

14番 樽井君。

○14番（樽井豪男君）非常に残念で、まだこんな状態かと思っております。その中で何点か伺いたいんですけども、まず学文路の体育館、そして並びにテニスコート、住吉のテニスコート、それと運動公園のテニスコート、利用人数、令和3年ので結構ですので、いづらか教えてください。

○議長（小林 弘君）教育部長。

○教育部長（堀畑明秀君）議員おただしの令和3年度の各生涯施設の利用状況についてでございます。

まず、学文路の体育館のほうですが、利用者が延べ6,877名、学文路のテニスコートのほうが利用者延べ3,505名、学文路のグラウンドについては利用者延べ1万3,104名というふうになっております。また、住吉運動公園のテニスコートでは利用者延べ3,667人、そして、伏原体育館のほうでは利用者延べ8,941名と

なっております。

運動公園のテニスコートにつきましては、2万9,882人となっております。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君。

○14番（樽井豪男君）まずこれだけの利用、多いか少ないかというのは、それは教育委員会で判断したらいいんですけども、やはりお金を頂いて、一応利用されとるということであります。その中で特にひどいと私が思いますのは、まず学文路の体育館、これがトイレが使えなくなって約2年ほどたっております。そして、ましてや今どうしとるかという、グラウンド用に造ってある仮設トイレを利用して。これはたまたまそこにあったからそれを利用しとるというだけと私は思っております。

まずこの体育館の浄化槽自身が悪いので止めとると思うんですけども、今度、浄化槽をやり替えた場合、先ほど言った管理計画、そういったものを策定されて、今後財源を確保して整備を進めるということですけども、この合併浄化槽、恐らく92槽ぐらい要と思うんですけども、その費用はだいたい私もつかんでいますけども、いくらかかりますか。

○議長（小林 弘君）教育部長。

○教育部長（堀畑明秀君）設計費込みで約5,800万円というふうに聞いております。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君。

○14番（樽井豪男君）これが今後、そういった財源確保並びに整備計画を策定して、いつこれがちゃんとできるんか、非常に疑問があります。その中で、今グラウンド用にある仮設トイレじゃなしに、今体育館の中には女性用・男性用のトイレがまずあります。便器数はそんなに多くないんですけども、やはりそれに近いものを仮設でも結構ですので、体育館の外に男性用・女性用ということで早急に造るべきじゃないんか。やはり利用料をもら

っている以上は、それぐらいの手だては必要じゃないかと思うんですけども、そのお考えはどうですか。

○議長（小林 弘君）教育部長。

○教育部長（堀畑明秀君）議員おただしのおり、学文路スポーツセンターの体育館のトイレにつきましては、浄化槽の老朽化により令和2年3月から使用できなくなっている状況でございます。そして、体育館利用者の方には外部にあるトイレを使っただいておるとというのが現状です。確かに体育館の利用者にはご不便をおかけしているというふうな状況は、教育委員会のほうも認識しています。したがって、利用者の要望や防犯の観点からも考慮して、できるだけ早く新たな仮設トイレを設置することで対応したいというふうに考えておりますけれども、設置時期や仕様につきましては、関係市長部局と協議して進めていきたいと考えています。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君。

○14番（樽井豪男君）関係部局と調整と言うんですけども、これ自身、使えない状態。今はないに等しいんですよ。グラウンド用の仮設だけなんでね。そして、単なる今、仮設用男性用・女性用をこしらえたとしても、恐らく500万円程度かかると思うんですけども、それが高いか安い。今の合併浄化槽、それやったらいつやり替えていくんよと。やっぱり6,000万円近いお金、それは市の全体のまず体育施設をどう考えていくんかというのを先ほどをつくっていくとなつとるんですけども、それをいつにできるんよと。その中でやっていくやっていけないか、それはやっぱり教育委員会の判断があると思うんですよ。その判断に基づいて当局もいろいろ思案すると思うんで、何も当局がこないしなさいとかじゃなしに、まず教育委員会としてどうしていきたくないか。それがまず重点的になってくると思う

んで、その強い意思があるんかどうかわいたいです。

○議長（小林 弘君） 教育部長。

○教育部長（堀畑明秀君） 教育委員会といたしましても、先ほどご答弁させていただいたとおり、このスポーツ施設について整備計画を立てて進めていきたいと。そして学文路スポーツセンター体育館の改修につきましても、浄化槽の入替えを含めて検討を進めていきたいというふうには考えております。ただ、整備計画のほうを今年度策定していきたいというふうには考えておきまして、何年に体育館の浄化槽の入替え工事をするとか、そういうのはまだ具体的に決まっておきませんので、ご理解願いたいと思います。

○議長（小林 弘君） 市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君） 補足をさせていただきます。

学文路の体育館につきましては、既に老朽化をしておきまして、それと環境管理センターが令和11年で終わることと今考えています。今の施設をもう使わない、そして横に建て替えるか、伊都浄化センターのほうへ移るか、今、管理者会のほうで検討もさせてもらっています。あと7年しかないものに浄化槽を入れて、6,000万円も投資することが本当にいいことなのかという問題も明らかで、仮設トイレにつきましては速やかにできるように、教育委員会から提案をしていただいたら、できるだけ早い時期に近くのように仮設トイレを設置していきたいと思っています。今の状況では非常に市民の皆さんに迷惑をかけておりますので、ここの分については早急に対応をさせていただきたいと思います。

○議長（小林 弘君） 14番 樽井君。

○14番（樽井豪男君） 当現場の教育委員会部局としては、やっぱり断固たる、こういうこ

とをやりたい。何も財政の顔色を伺わんと、やはりこういう方針でやるんやと、遠慮をせずに私は言うべきじゃないかとは思いますが。市長は新しく仮設トイレをしていただくって非常にありがたいんで、できたらそのときには今のグラウンドにあるようなトイレやなしに、もうちょっと見栄えのええトイレをしていただきたいと思います。恐らく今の仮設トイレは130万円か40万円ぐらいのものなんで、やはり体育館の端に造るとしたらもうちょっと見栄えのええやつを一応検討していただきたいと思います。

それではもう一点、テニスコートなんですけども、市長もテニスをされると思うんですけども、非常に学文路なり住吉なり、これだけ虫食いした、つづくったグラウンドはまあないと。恐らくこういった人工芝は耐用年数10年ほどあると思うんですけども、これをすぐ張り替えというのは私は言いません。やはり1面400万円近くするんじゃないかと思うんですけども、伏原のテニスコートはどうもハードコートですんで、学文路と住吉、これだけつづくった状態で使ってもらおうということは、こけたときにけがしたらどうするんよと思ったりします。そういった中で整備計画の中で、これはやっぱり早いうちでやっていく。やっぱりこれは修繕の部類になってくると思うんで、その辺りはお考えどうですか。

○議長（小林 弘君） 教育部長。

○教育部長（堀畑明秀君） 確かに議員おただしのおり、現状では大変懸念がございますので、学文路スポーツセンターのテニスコートの整備、それから住吉運動公園のテニスコートの整備につきましても、先ほどからしておりますスポーツ施設の整備計画を策定し、対応を考えていきたいというふうには考えています。

○議長（小林 弘君） 14番 樽井君。

○14番（樽井豪男君）じきに最後はその方向になってくるんですけども、現状からして利用者がやはりええ状態の芝でやりたい。まして運動公園のテニスコートでしたら、約3万人が来て結構収益が上がるので、そこも全面一応張り替えています。こういった人数的には少ないんですけども、それだけ楽しんで利用されている方、また中学生の大会とかもやっていると聞いております。たとえ1面ずつでも張り替えるとか、そういう手だてをしていただきたいと思います。これは要望にしておきます。一応、トイレがオーケーを頂いたんで。

そしてもう一点は、伏原の体育館なんですけども、これが雨もりが非常にあるということで、雨もりをまず直して、それともう一点は、あそこだけ変につり天井になっています。つり天井というのは、割と体育館の中で天井があるというのは非常に珍しい状態なんで、もし何かあったときに、前、ボールを当ててちょっと穴が空いたとかは聞いとるんですけども、やはり早いこと雨もりの修繕とか、それで将来的にLED化も恐らく考えとると思いますので、その時点でやはりつり天井を外すという方向で考えてみてはどうですかと思うんですけども、そこらあたりどうですか。

○議長（小林 弘君）教育部長。

○教育部長（堀畑明秀君）伏原体育館のほうにつきましても、建築年数が40年以上となっており、相当老朽化が進んでいます。また、つり天井というふうな部分につきましても、スポーツ施設の整備計画を策定する中で、また優先順位等を考慮し、検討し、対応していきたいというふうに考えています。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君。

○14番（樽井豪男君）ありがとうございます。やはり学校施設と違って、こういったスポーツ施設があまりにも置き去りにされるとい

うのが私の実感です。やはり早いことそういった整備計画をして、当局とも十分話し合いながら、どの順番でしていくとか、非常に大きなお金がかかることがあります。それだけ市長が言われたように、どことどこ統合するとか、テニスコートをやめて運動公園にしてよと、そんな形になるかも分かりませんが、それまでの間、やっぱり悪いもんは早いこと直すというのは、それが基本だと思うんで、今日は私の質問の中でまず便所が一つメインでしたので、それもしていただけるということを回答いただきましたんで、これで私の一般質問を終わります。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君の一般質問は終わりました。

この際、午後1時まで休憩いたします。

（午前11時47分 休憩）

---